

# 第65回 全国植樹祭 2014 にいがた

## 未来へつなぐ森の力〜復興から創造へ〜



6月1日、新潟県長岡市の千秋地区と川口中山地区の2会場  
で「第65回全国植樹祭 にいがた2014」が行われました。

全国植樹祭は、天皇后両陛下のご臨席のもと、豊かな国土  
の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年か  
ら各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動  
の中心的な行事です。

新潟県では昭和47年に黒川村(現在の胎内市)で開催された第  
23回大会以来、42年ぶり2回目の開催となりました。

未来へつなぐ森の力〜復興から創造へ〜

今大会の主会場となった長岡市千秋地区の式典・お手播き会場と川口中山地区のお手播き会場では、約3千人が参加。また、長岡市内の2か所に設けられたサテライト会場にも1万人を超える参加者が集いました。

今年も、新潟県の中越地域に大きな被害をもたらした中越大地震から10年目の節目の年にあたります。

「未来へつなぐ森の力〜復興から創造へ〜」を大会テーマに、多様な県民参加による「にいがた緑の百年物語〜木を植える県民運動」の推進など、新潟県の緑化活動の取組を発信し、さらに発展させる絶好の契機として、また、中越大地震で全国から寄せられた支援に感謝し、復興をアピールする機会として開催されました。



式典アトラクション「森のチカラ・つくる未来〜越後杉の贈り物〜」(式典・お手播き会場)



植樹祭のシンボルである木製の地球儀が泉田裕彦新潟県知事(左)から谷本正憲石川県知事(右)へ(式典・お手播き会場)





緑の少年団にお声をかけられる両陛下



天皇陛下によるお手植え



天皇陛下によるお手播き



エピローグアトラクション「未来へ」  
風船メッセージ(お手植え会場)



皇后陛下によるお手植え



皇后陛下によるお手播き

### 森林や木々を愛する心を

式典に先駆けて、泉田裕彦<sup>いずみだひろひこ</sup>新潟県知事から岩手県、宮城県、福島県の各代表者に東日本大震災復興支援の緑化樹木贈呈や、新潟県警察音楽隊による歓迎アトラクション「新潟の四季」の披露が行われました。

天皇皇后両陛下がご臨席された式典では、大会会長伊吹文明<sup>いぶきぶんめい</sup>衆議院議長がこの大会が、今を生きる人々や未来を担う子どもたちに森林や木々を愛する心を培う契機となり、豊かな森林、大切な日本の国土を守る日本人の心根が、全国に広まることを願っています」と主催者を代表して挨拶をしました。続いて、泉田裕彦新潟県知事が「本県においては、鮭の循環養殖に世界で初めて成功した三面川<sup>みおもてがわ</sup>上流のサケの森づくりや、佐渡でのトキの森プロジェクトなど幅広い森づくりを行ってまいりました。本大会を契機に、私たちは県民参加の森づくり運動を一層、発展させてまいります」と、未来に向けた森林づくりの決意を述べました。

続いて式典会場では、緑化功労者の表彰、ダンスパフォーマンスが行われました。両陛下のお手播きでは、天皇陛下がアカマツ(にいがた千年松)とスギ、皇后陛下がケヤキとタムシバの種子を緑の少年団の子どもたちの介添えで播かれました。

大会宣言、来年全国植樹祭が開催される石川県へのリレーセレモニー、エピローグアトラクションで式典は終了。正午からは、新潟県中越地震の震源地となった川口中山地区のお手植え会場において、震災で亡くなられた方へ黙とうをささげた後、両陛下のお手植えが行われました。

天皇陛下はブナ、イタヤカエデ、ホオノキの苗木、皇后陛下はユキツバキ、ヤマボウシ、ウワミズザクラの苗木を植樹されました。お手播き、お手植えになられたのは、いずれも新潟県の自然条件にあり、県民に親しみがあって日常生活に関わりの深い在来の樹種で、今後は新潟県中越地震からの復興と新潟県民の森づくり運動のシンボルとして

て管理・育成されることになっていきます。

お手植え会場では、最後に子どもたちの森や未来へのメッセージが付けられた、色とりどりの風船が上空へと放たれ、大会が幕を閉じました。

来年春の第66回全国植樹祭は、石川県小松市を主会場に開催される予定です。



代表者記念植樹を行う農林水産大臣  
写真提供：新潟県



農林水産大臣へ緑の少年団から苗木の贈呈